

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2017年5月29日

【2017年5月20日～2017年5月26日までの推移】

【1】先週の回顧

先週は、リアルは対円、対米ドルともに小動きとなり、ほぼ横ばいの水準となりました。2年国債金利は低下しました。

テメル大統領の汚職隠ぺい疑惑に関して、テメル大統領は、汚職隠ぺいの証拠とされる録音テープは改ざんされたものであるため、捜査を停止することを最高裁判所に求めたことを公表しています。

政局の不透明感により、大手格付会社は格付けを見直すことを発表しましたが、ブラジル財務省は、財政均衡を目指す構造改革などを通じて経済の回復に取り組む方針をあらためて表明しています。

また、メイレス財務相が政治の混乱に関わらず政府は構造改革を進めると述べたことや、マイア下院議長が6月上旬に年金改革を含む社会保障改革法案の審議をするに述べたことを受けて、直近のブラジル金融市場は落ち着きを取り戻しました。

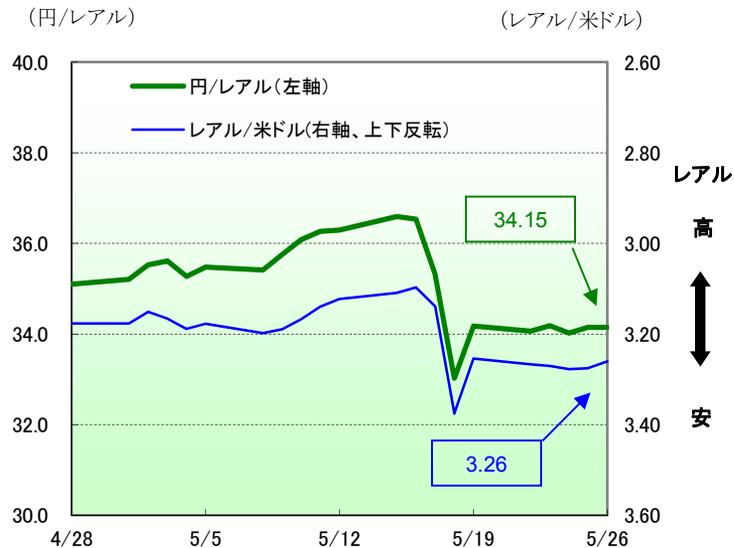
【2】今週の見通し

今週は、Copom(金融政策委員会)が開催され、政策金利が発表されます。市場では利下げが予想されていますが、今後の金融政策を占う上で、利下げ幅や声明文の内容に注目が集まります。

財政再建の行方については、社会保障改革法案の採決が最重要のイベントとして位置づけられると考えています。法案の採決は、ブラジル政府の財政再建の意思が揺るがないものかどうかを確認する試金石として注目されます。

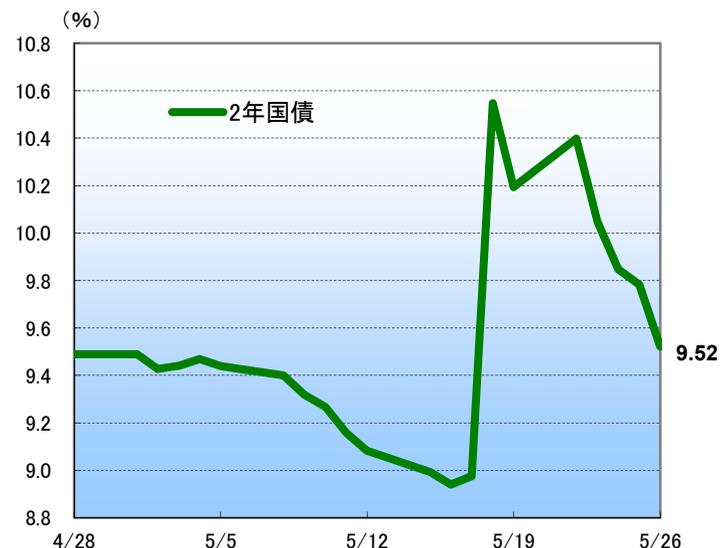
政局は、一部の与野党の議員が大統領の弾劾を議会に請求しているほか、連立政権を組む一部の政党が野党に回る動きがみられるなど不透明です。テメル大統領の去就や法案採決への影響は現時点で不確定な部分が多く、今後の進展を見守る必要があると考えています。

【ブラジル・リアル 為替推移】(2017年4月28日～2017年5月26日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】(2017年4月28日～2017年5月26日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
 - 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
 - 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
 - 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>